

※※2011年4月改訂（第5版）

※2009年7月改訂

コンドロイチン硫酸製剤

コンドロイチンZ錠

CHONDROITIN Z TAB.

コンドロイチン硫酸エステルナトリウム※※

日本標準商品分類番号	
873991	
承認番号	13700AZZ03754000
薬価基準収載年月	未収載
販売開始年月	1963年11月
再評価結果	1985年7月

《貯法》室温保存

《使用期限》包装に表示の使用期限内に使用すること。

（使用期限を過ぎた製品は使用しないこと）

■組成・性状

販売名	成分・含量 1錠中	添加物	剤形	外形			色 大きさ 平均重量	識別 コード
				表	裏	側面		
※※ コンドロイチンZ錠	コンドロイチン硫酸エステルナトリウム 400mg	乳糖水和物、白糖、バレイシヨデンブ、マクロゴール4000、香料	錠剤	⊙(ZP)	⊕	⊖	白色～微黄色 直径約11.1mm 厚さ約5.7mm 重量 600mg	ZP

■効能・効果

腰痛症，関節痛，肩関節周囲炎（五十肩），症候性神経痛，進行する感音性難聴（音響外傷を含む），慢性腎炎（軽症例）

※※■用法・用量

コンドロイチン硫酸エステルナトリウムとして，通常成人1回0.3～1.2gを1日3回経口投与する。なお，年齢，症状により適宜増減する。

■使用上の注意

1. 副作用

総症例1,887例中37例（1.96%）に副作用が認められ，その主なものは発疹等の過敏症，下痢等の胃腸障害で重篤なものはない。（再評価結果時）

分類	頻度	0.1～5%未満
過敏症*	発疹	
消化器	食欲不振，下痢，悪心，胃部不快感	

*：発現した場合は投与を中止すること。

2. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

3. 妊婦，産婦，授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立されていないので，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には，治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること。

4. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立されていない（使用経験がない）。

■臨床成績

- 疼痛性疾患（症候性神経痛，関節痛等）を対象とした一般臨床試験で，疼痛の消退，軽快化等の効果を認めた。¹⁾
- 進行する感音性難聴（音響外傷を含む）を対象とした一般臨床試験で，難聴，耳鳴の軽快化等の効果を認めた。²⁾
- 慢性腎炎（軽症例）を対象とした一般臨床試験で，尿検査所見，腎機能検査所見，自覚症状等に改善が認められた。^{3),4)}

※■薬効薬理

1. 疼痛性疾患に対する作用⁵⁾

臨床経験上，関節痛，肩関節周囲炎などの疼痛性疾患に対し，疼痛緩解効果が認められている。これは抗炎症作用，局所循環改善作用，コラーゲン線維安定化作用によるものと考えられている。

※※2. 難聴に対する作用⁶⁾

強大音負荷により障害をうけたモルモットに対し，コンドロイチン硫酸エステルナトリウムは蝸牛有毛細胞上に重積した障害の消失を促進し，有毛細胞の変性を予防する。

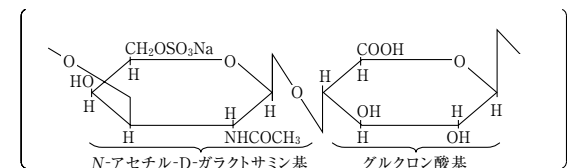
■有効成分に関する理化学的知見

※※1. 一般名：コンドロイチン硫酸エステルナトリウム

(Chondroitin Sulfate Sodium)

2. 分子式：[C₁₄H₁₉O₁₄NSNa]_n

3. 構造式：



4. 性状：白色～微黄褐色の粉末で，おおいにはないか，又はわずかに特異なおおい及び味がある。

水に溶けやすく，エタノール，アセトン又はエーテルにはほとんど溶けない。

水溶液（1→100）のpHは5.5～7.5である。

吸湿性である。

■取扱い上の注意

吸湿性であるので，開封後は湿気を避けること。

※■包装

126錠

※■主要文献

- 1) 大島良雄：岡山大学温泉研究所報告，6，52，1952
- 2) 椿 茂和：コンドロイチン硫酸製剤文献集，1975
- 3) 阿部 裕 他：総合臨牀，7（8），1621，1958
- 4) 東條静夫 他：腎と透析，9（Suppl. 2），287，1980
- 5) Jackson, D. S.: Biochem. J., 54, 638, 1953
- 6) 久保正雄 他：交通医学，13, 235, 1959

■文献請求先

ゼリア新薬工業株式会社 コンシューマーヘルスケア学術企画室
〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
☎(03)3661-2071

製造販売元



ゼリア新薬工業株式会社

東京都中央区日本橋小舟町10-11